

# 春風の便り

05  
VOL

こんにちは、  
はるた けいし です。  
「人と地域が輝く社会づくり」に、  
青年らしく頑張りと、  
また全力で取り組みます。

## 生活を守り抜く



### 五回目の一般質問

六月二十二日に行った、高松市議会第五回定例議会での一般質問の概要をご報告させていただきます。

◆ ◆ ◆

百年に一度の経済危機と叫ばれる中、景気・経済が底抜けをしないよう、また、未来への成長を睨んで投資を行う自公連立与党による経済対策が講じられた時、政治に求められるのは、市民国民の生活を守りぬくという姿勢です。

私たち地方自治を担う者も、やれるべきことは何でもやる！との姿勢で、市民と一緒に苦を分

かち合い、一緒に汗することを第一義とすべきだと考え、より具体的な対策を提案する内容としました。

### 緊急雇用対策に物申す！

一番目に、自営業の方々から「中小企業や社員は守られる制度が出来たが、個人事業主には何もない！」「仕事が全くなく、生活が厳しい」との悲痛な訴えを多く聞きして何が出来たのかと考え、政府が行った経済対策の「緊急雇用制度」が本来の趣旨（離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年者等の一時的なつなぎの雇用である）に沿っておらず、行政側の視点（事

### 平成21年度第5回定例議会 一般質問項目

- 1 新たな緊急雇用創出基金事業への本市の対応方針について
- 2 クリエイティブ・コア構想に基づく産業振興策への、さらなる取り組みについて
- 3 地デジチャンネル・データ放送への市政情報配信の考えについて
- 4 自転車活用の、さらなる推進について  
(1) 民間が運営主体となる観光レンタサイクルへの補助支援と、既存のレンタサイクルポートとの連携、及び民間によるサイクリングマップの作成に対する補助支援を行う考え  
(2) 自転車通勤推進につながる高松市職員の通勤手当の見直し  
(3) 3人乗り自転車の公安委員会規則改正への対応と購入費助成に対する考え
- 5 情報化の推進について  
(1) 情報の標準的文書形式化(ODF化)に対する考え  
(2) 行政サービス向上における情報化、電子申請・届け出の対象手続の拡大と利用率向上

務作業の補佐などが多くを占める計画になっていることを指摘しました。そして今後立案される対策ではもっと柔軟に、少しでも多くの方の生活を支えるべき収入がもたらされるようになるよう改善を求めました。

### 高松の魅力を高めるために「経済対策」を最大限に活用する！

高松は多くの優れた芸術家から愛された地域であるという最大の魅力と、来年開催される「瀬戸内国際芸術祭」を単なるイベントとして終わらせないためにも、産業の創出につながる戦略が必要であることを指摘し、今まで視察などを通して調査を

### 市民の声を形にする

この他にも、日頃多くの方々と接する中でお聞きした提案、要望、相談の中から今、必要だと考えるものを具体的に提案しました。

◎ 自転車利用の促進、レンタサイクルの改善等

◎ 三人乗り自転車購入の補助

◆ ◆ ◆

春田の原動力は、多くの方々からもたらされる「声」です。その「声」を形にすることで、春田の使命です！

# 議員

にさせていただきます  
て28ヶ月。今でも  
多くの方々から「

議員って毎日何をしているの？」  
「と」質問をいただきます。

その度に、議員の仕事で基本  
中の基本、市民からの声を聴き、  
市民に正しく情報を提供するこ  
とが出来ていないと反省ばかり  
しています。

市議会議員として、議会にだ  
け出席して座っているだけでは  
税金泥棒です。選挙のため(リク  
ルート活動)に時間を費やすこ  
とも同様です。市民の暮らしを  
守るために果たさなければなら  
ないのは、

- 一、市民相談への対応、報告
- 二、行政の仕事内容をチェック(監査)
- 三、より良いサービスを提供

するための調査・提案

であると春田は考えています。

## ■市民相談が原点

何よりも市議会議員は、「市  
民の暮らしに密着」しています。  
そこで、春田に寄せられた相談  
内容の内、口頭で返答したもの  
を除いて、市側につなぎ折衝し  
たものを取り上げ分類して集計  
してみました。

# 「議員のシゴト」 って？

一番多いのは道路の修繕やカ  
ープミナー設置など「安心・安全  
」の項目で39%を占めています。  
次に多いのが、ペットの苦情や  
市営住宅の入居、騒音などの「  
暮らし」にまつわる相談で19%、  
そして最近増えているのが、厳  
しい生活の困窮を訴える生活保  
護にまつわる相談で16%、高齢  
者の緊急ヘル設置や介護保険な

## ■急増する生活相談

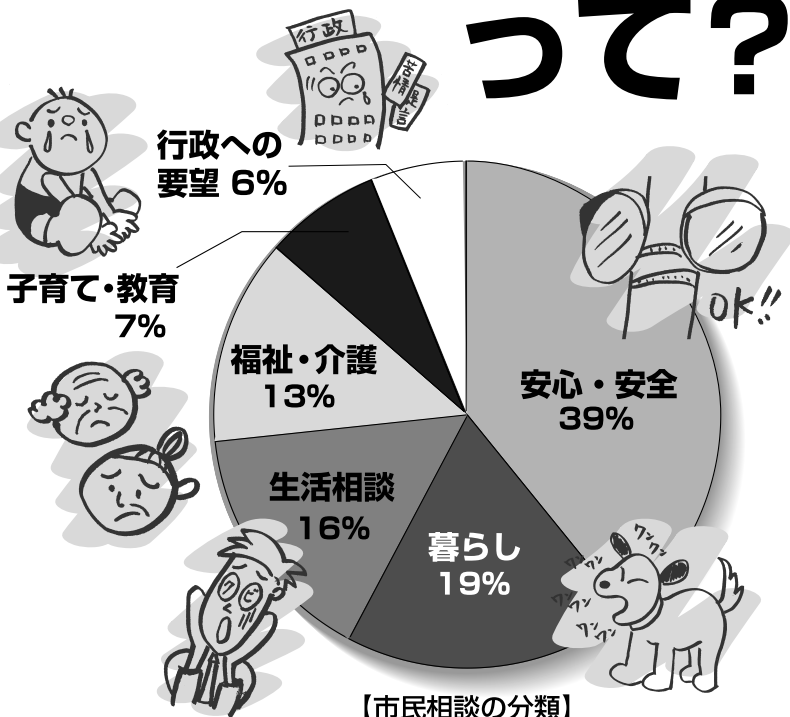
|        |     |
|--------|-----|
| 安心・安全  | 107 |
| 暮らし    | 51  |
| 生活相談   | 43  |
| 福祉・介護  | 36  |
| 子育て・教育 | 20  |
| 行政への要望 | 17  |
| 合計(件)  | 274 |

【市民相談の内訳】

## ■口利きだけが仕事？

しかし、市民相談に応じるだ

あり、大切にしないといけない  
活動です。



【市民相談の分類】

ど「福祉・介護」  
の相談が13%、幼  
稚園・保育所への  
待機問題や学校  
への苦情・相談な  
ど「子育て・教育  
」が7%、その他  
行政への具体的  
な苦情・改善の要  
望が6%です。

こうして寄せ  
られた相談の中  
から一般質問に  
つながるものや、  
行政の潜在する  
問題点が見えて  
きます。

どこまでも議  
員活動の原点で  
あり、大切にしないといけない  
活動です。

## ■問題の分析力が要

行政活動の何が問題なのか？  
何を優先すべきなのかを決める  
のが議会の仕事であり、議員の  
使命です。そのためには、目の前  
にある事象の何が問題なのか、  
この問題を認識する力が重要な  
のです。問題の認識が間違ってい  
ては、対策(政策)も間違えます。

春田は毎日どこかで、市民か  
らの声を聞き、資料の山と格闘  
しながら、悩み考え、暮らしを守  
るために働いています！



# 「地域コミュニティから明日の日本を考える」

日時／平成21年7月9日 於／全日空ホテルクレメント高松

主催／四国経済産業局 講師／北畑隆生氏（前経済産業省事務次官）

最近、コミュニティの活動を通じて地域が抱える課題をビジネス的手法で解決する「コミュニティビジネス」や「ソーシャルビジネス」と呼ばれる分野が注目されています。そんな中、先日、高松市内で開かれたコミュニティビジネスフォーラムに参加してきました。

## ■地域コミュニティビジネスが鍵

「100年に1度の世界同時不況は怖くない！問題は人口減少社会をどのように迎えるかだ」と。対策は、①新しい産業を開発、②アジアの発展に貢献し共に発展する、③地域で自立して発展するコミュニティビジネスである。

今回のテーマである「地域コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス」を育てるためには、①地域資源に気がつく、②人がビジネスを成功させる（人材力）、③事業としての継続性を図る（ブランド化）が重要である。

## ■パブリックは自分達でやる！が基本

明治時代にパブリックを翻訳した時「公の」と訳してしまい誤解を生んでしまった。公共のものとは、役所がすることとなってしまったが、語源はピープル（人民）からであり、本来は「市民や国民の共通利益につながるもの」である。パブリックの仕事は行政だけかやる仕事ではない。地元のことは地元の人が一番よく知っている。役所からお金をもらうにしても自分たちがやっていくのが本来の姿。できるものは民間セクタ



ーでやる、地域のことは地域でやるのが本来の姿。

その一例として、鹿島アントラーズの取り組みのように、スケールを小さくすれば、「地元の人たちに勇気をつけて、我が町を誇りに思うようなビジネス」は日本中にたくさんある。



これからの暮らし方を選択する今、地域コミュニティに根ざしたビジネスづくりを春田はしっかりと応援して参ります。

### 【講師プロフィール】

北畑隆生氏（社団法人日本ニュービジネス協議会連合会特別顧問  
前経済産業省事務次官）

昭和25年兵庫県生まれ。昭和47年東京大学法学部卒業。同年、通商産業省（現経済産業省）入省。平成2年茨城県商工労働部長、同14年大臣官房長、同16年経済産業政策局長、同18年経済産業省事務次官、同20年退官。社団法人日本ニュービジネス協議会連合会および日本生命保険相互会社特別顧問に就任され現在に至る。

## 10/12（体育の日）に事業仕分けを実施します！

日時／平成21年10月12日（月・体育の日）9:30～17:00（受付9:00～）

場所／高松市役所本庁舎13階大会議室、11階114会議室（モニター放映予定）

高松市公明党会派では、誰よりも早く平成17年から、市民サービスの質の向上や業務の見直しを行うために「事業仕分け」の実施を繰り返し訴えて参りました。

今回の業務の見直しでは、市民・NPOと関わりのあるもの、市民協働の可能性が大きいなど、市民や外部の視点で見直しの方向性を議論することが有意

義と考えられる事務事業から10事業を選定し実施します。

公の仕事を自分達の手に取り戻すため、先ずは何が行われているのか知る機会になります！ 皆さん一緒に参加しましょう！

お知らせ

仕分け作業は、公開で行いますので、どなたでも傍聴できます。



| 日      | 内 容                             |
|--------|---------------------------------|
| 4/7～10 | 地元地域の入学・入園式に参加                  |
| 19     | 渋谷ものづくり学校元校長との懇談会参加             |
| 20     | 太田中央公園にてホテルの放流式参加               |
| 25     | NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ総会参加     |
| 5/2    | 瀬戸内国際芸術祭統括プロデューサーの北川フラムさんを囲む会参加 |
| 14     | 平成21年度第3回高松市議会臨時会出席             |
| 24     | 弦打小学校運動会出席                      |
| 25     | 四国サイコー大学 運営に参加                  |
| 28     | 平成21年度第4回高松市議会臨時会出席             |
| 30     | 勝賀中学校運動会出席                      |
| 31     | NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ研修会運営参加  |
| 6/4    | NPO法人ETIC 宮城理事長を訪問              |
| 5      | 池尻ものづくり学校 間中副校長を訪問              |
|        | ダイアログ・インザ・ダーク(東京)に参加            |
| 14     | 男木島ビーチコーミングに参加                  |
| 12～26  | 平成21年度第5回高松市議会定例議会              |
| 22     | 5回目の一般質問                        |
| 7/3    | チャリプロジェクト(自転車利用を考える)参加          |
| 9      | 地域コミュニティから明日の日本を考える 講演会に参加      |
| 28     | 経済環境常任委員会 高松中央市場視察              |
| 30     | 市議会議員研修会 出席                     |
| 8/9    | 海底ゴミ学習会に参加                      |
| 14     | 高松祭り総踊りに参加                      |

●市民相談件数34件 ●相談累計274件

★日々の活動は「春田のブログ」をご覧ください。  
<http://haruta.ptu.jp/blog>

携帯はこちらから

## 活動実績

皆さんからの要望が形になりました。



## 【太田上町】駅前側道の修繕が完了

党員のHさんから、太田駅前の道が狭いために夜になると車が通ると、側道のフタがバタバタと鳴ってうるさく困っているとの相談を受け現地に急行。地元の自治会長さんたちとも協議し、区間を延長したため工事が2か年に渡りました。総延長100メートルにわたり整備ができました。



## 【太田上町】カーブミラーの新設

地域の方からの要望を党員のTさんを通じてお聞きし、設置しました。しかし一度設置した方が間違っていたために修正をしました。

## 【香川町】トンネルミラーの設置

党員のTさんから川東小学校の通学路にあるトンネルが「中が見えないために怖くて通りにくい」との相談を受け、都築県会議員と連携しミラーの設置を行いました。

◎相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。党員に限らず、どなたでも結構です。

## 春一番！

編集後記

先の衆議院総選挙では公明党に対してご支援をいただき、心より厚く御礼申し上げます。我が党には厳しい結果となりましたが、「今の政治を変えたい」との国民の血と汗を流した選択が無益なものとならないように、今こそ「生活を守り抜く」とのお約束を果たすために、全力で働いて参ります。そして今こそ、政治とは何か、公共とは何かを一緒に考え直したいと思います。



春田敬司 はるたけいし

昭和42年2月23日、兵庫県神戸市生まれ。国立高松工業高等専門学校機械工学科卒。(有)ジャストブレイン代表取締役(経営コンサルタント)。平成19年4月高松市議会議員初当選。座右の銘は「為せば成る」。

## 会計報告

政務調査費

H20年度、H21年度(4～8月)

| 経費の区分   | H20年度    | H21年4～8月 |
|---------|----------|----------|
| 1 研究研修費 | 302,845  | 60,102   |
| 2 調査旅費  | 0        | 0        |
| 3 資料作成費 | 120,197  | 4,850    |
| 4 資料購入費 | 63,696   | 106,566  |
| 5 広報費   | 176,650  | 0        |
| 6 広聴費   | 0        | 0        |
| 7 人件費   | 0        | 0        |
| 8 事務所費  | 0        | 0        |
| 9 その他   | 0        | 0        |
| 合 計     | 663,388円 | 171,518円 |

平成20年度より政務調査費の用途基準運用指針が変更され、1円以上の領収書すべての資料が情報公開の対象となりました。



NEW KOMIITO

公明党

「春風の便り」 第5号

●発行者:高松市議会議員 春田敬司

●発行日:2009年9月

●連絡先:〒761-8013

高松市香西東町14番地8

TEL087-842-5730